

# 現場見学会

日時：平成 27 年 2 月 20 日(金)

場所：平城宮歴史公園復原事業情報館新築工事

参加：建築科 2 年 33 名 + 引率教員 3 名



# 第 回 実習報告書

担当先生	福本 家高 佐野	先生	実習項目 測量・木工・着色・透視図 施工・CAD・( )
実習実施日 平成 27年 2月 20日		提出日 平成 27年 2月 23日	
題目	現場見学に行って		
<感想>			
<p>今回見学に行った情報館は、前回と違う木造について理解することができた。周りに朱雀門や大極殿院などの木造の建物も緑が多かったので情報館が違和感なく建てられていた。シアターゾーンでは大音量の音が流れるので天井にたくさん穴を開けて音が吸収されるようになっていた。ロビーでは、落ちついて休憩できる様に壁の色も工夫されていると感じた。この建物は構造用集成材が使用されていると、それが特徴的だなと感じた。後、張弦梁が使用されていて非常に安定していた。木材と鋼材のハイブリッド構造で木造はイボ口などで梁を取り付けていたがこれからは、金具などでとめたり、張弦梁を使用したり、ハイブリッド構造が主流になっていくのではと話して下さった。屋根には換気のための隙間が空いていたり、断熱材と構造用合板の間に空気層をいくつか作っている工夫が見れた。木材が腐らないように防湿シートを貼られていた。ホールダウン金物や巾木金物、V形プレートなどいろいろな金物が使用されていて、強度が増した建物になっていた。壁や屋根に防湿、防水シートや通気用金物が使用されていて木材が腐敗しないようにとても気が使われていた。前回はRC造で今回は木構造を理解することができてとても良かった。今やっている自由設計のお題も木造なので参考にできれば良いなと思います。</p>			

# 第 回 実習報告書

担当先生	先生	実習項目	測量・木工・着色・透視図 施工・CAD・( )
実習実施日 平成 27 年 2 月 20 日 <small>△</small>		提出日 平成 27 年 2 月 23 日 月	
題目	現場見学会 2 <div style="float: right; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     27.2.23                      建築科                 </div>		
<p>                     今日、私は奈良県にある平城宮跡歴史公園復原事業情報館の現場見学会を行ってきた。まず、私は情報館内のシアタールームで情報館の工事についていろいろとわかり説明を聞いていた。「構造用集成材」という初めて聞いた建築用語について私はすば興味がおき、構造用集成材についての説明を聞いていた。「構造用集成材」とは、所要の耐力を目的として、挽き板をその繊維方向にほぼ平行にして、積層接着した一般材で、主として構造物の耐力部材として用いられるもの。」などお話し、そのほかにも配っていた資料を見ると大断面集成材（短辺が15cm以上、断面積が300cm<sup>2</sup>以上）や中断面集成材（短辺が7.5cm以上、長辺が15cm以上のもの）であって、大断面集成材以外のもの、小断面集成材（短辺が7.5cm未満または長辺が15cm未満のもの）などいろいろと知らなかった建築に関することとを配っていた資料で知ることもできました。その後お説明を聞いていたと、張弦梁というまた、初めて聞いた建築用語について説明を聞いていたと、張弦梁とは外力を受け、柱が楕円になるようにする働き、タイロッドに張力（内側への引張り）を加えることにより釣り合いたる保つ木材と鋼材のハイブリッド構造体ということを知ることができました。そのほかにも、屋根に少くだけ隙間をあけることで換気・通風をしたり、全天候シート（絶縁シート）を敷くことにより、湿害防止の役割をするなどといった細かな箇所まで画像付きで説明をしていただいたおかげで、すばく解りやすかったです。情報館内の説明を終えたあと、外へ出て奥の中情報館外についていろいろと説明をしていたとき、本堂にありおとうござんす。その後、私は第一次大極殿院の内部に入り、おじいさんに第一次大極殿院についての説明を聞いていたと奈良時代の時があったとさあている場所と同じ所に建て、下に眠っている貴重な物を傷つけないために杭を打ってほいけななど、古い建物を復元することは、大変なんだなと学びました。今日の現場見学会は、学び・学び・学びことばかりの貴重な1日になりました。現場見学会を終えたあと奈良公園に行きました。楽しかったです。                 </p>			